

平成22年度保健福祉部業務研究等報告会

デイサービスと理学療法士(PT)・作業療法士(OT)
の連携モデルに関する考察

～デイサービスへのPT・OT派遣支援事業から～

リハビリテーション支援センター
技師 三浦 禎

はじめに

- ◆デイサービスとデイケアの機能分担
 - リハビリが必要な方はデイケアへ，不要な方はデイサービスへ
 - 線引きは本人・家族の希望とケアマネの力量
- ◆デイケアの飽和，地域偏在
 - 定員を理由にデイケアに断られる利用者
 - 近隣にデイケアがなく利用できない利用者
- ◆予防とリハビリテーションに主眼をおいた制度改正
 - 日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止
 - 機能訓練指導員の配置義務



レスパイト＋主体的な活動を引き出す場

PT・OT従事状況調査 ～デイサービスへのアンケート調査から～

リハビリテーション支援センター調査（平成21年6月）

調査対象：デイサービス493ヶ所（回収率 55.4% 273ヶ所）

機能訓練・介護予防サービス提供上の課題は何か？(自由記載)

◆機能訓練が利用者のためになっているか不安

- ・看護師にできるリハビリには限界がある
- ・専門的な立場から相談できる相手がいない
- ・どんなリハビリをすれば良いか分からない（メニューが単調になってしまう）
- ・在宅生活に役に立っているのかつかめない・・・

◆機能訓練の必要性を感じない

- ・病院で行っているようなリハビリは必要ない。レクリエーションが妥当
- ・利用者は機能訓練を望んでいない。かんだリハビリが本当に必要か
- ・後期高齢者が多く、交流や会話をして過ごすのが相当
- ・リハビリ用具がないので、個別対応はできない
- ・利用者全員に「肩もみ」みたいなことをすると、たくさんのリハ職員を抱えなければならない。・・・



デイサービスへのPT・OT派遣支援事業

事業概要

目的 ①PT・OTの視点を付加することで得られる効果
②PT・OTの担い得る役割は何か・・・を検証し、
デイサービス職員とPT・OTの連携の必要性について
考察すること。

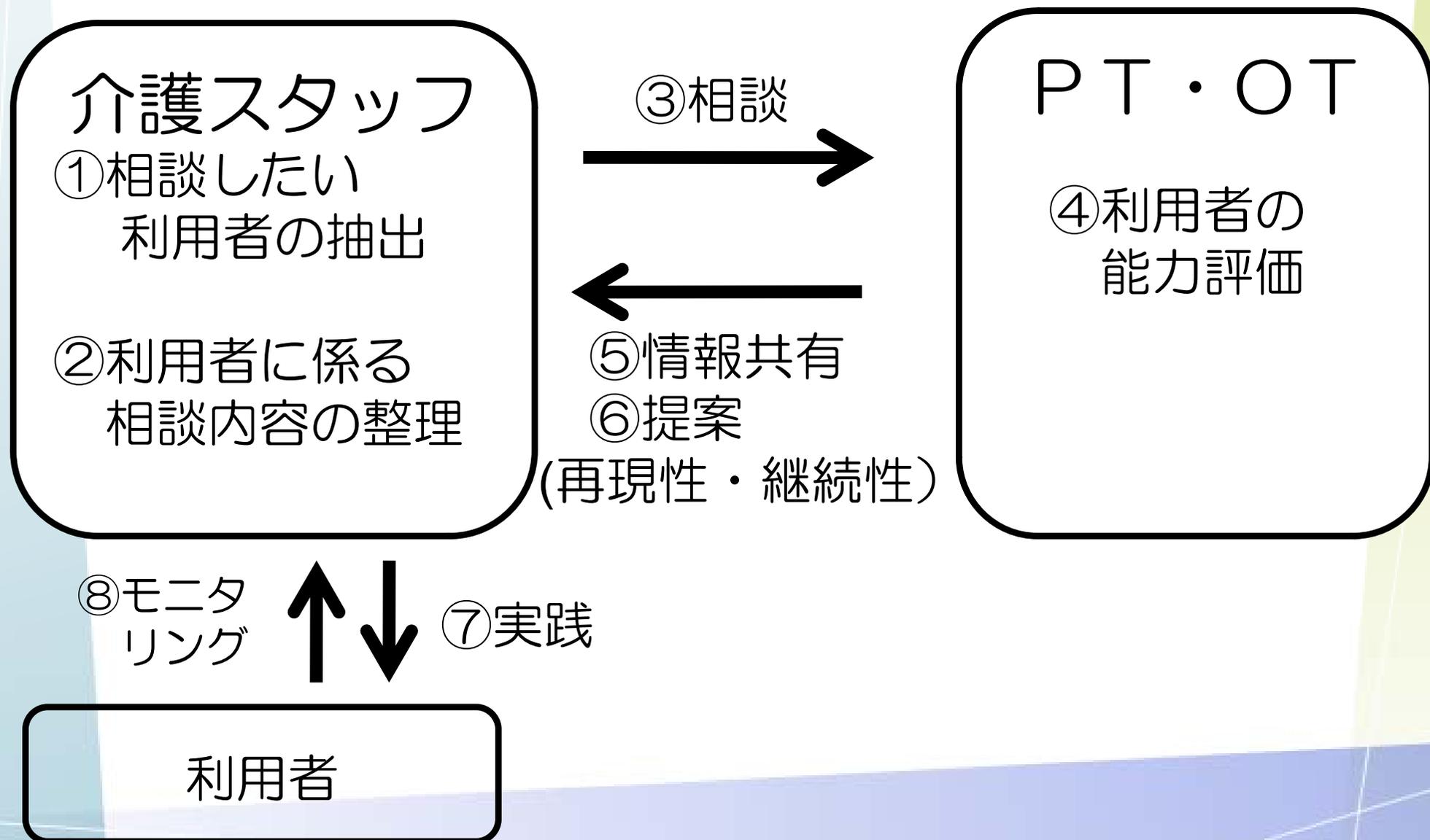
協力 (社)宮城県理学療法士会, (社)宮城県作業療法士会
及び両療法士会に所属する会員 (PT3名 OT7名)

参加事業所 4ヶ所 (小規模型3ヶ所 通常規模型1ヶ所)

希望動機 客観的な評価の必要性, リハビリ内容の検討, ケア技術の検証

派遣期間・頻度 平成22年6月～12月 (2回～4回/月)
〔1事業所当たり, 2～3名のPT・OTが
ローテーションを組み対応〕

介入時の流れ（連携の進め方）



事例紹介

氏名 Hさん（86歳 女性）
現病歴 パーキンソン病（23年前に発症）

生活状況 要介護度3。娘夫婦と3人暮らし。
平成18年10月からデイサービス利用を開始（週6日）
利用目的：入浴・リハビリ・日中の見守り（娘夫婦共働きのため）
リハビリ内容：集団レクリエーション
下肢筋力訓練（スクワット30～50回）
※他の時間は車いすに座っていることが多い。

ADL等の実施状況

移動は屋内，屋外ともに車いす介助で移動。食事以外のADL（歩行，入浴，トイレ，更衣，整容）は全て介助を要する。

事例紹介

OTへの相談内容

パーキンソン病により、車いすでの姿勢が悪く、自宅では度々、車いすから転落してしまう。良好な姿勢を保持し、転落を予防できないか。

OTのアセスメント結果

- ・ 強度の円背
- ・ 不良な座位姿勢（大腿部と腹部が触れそうなほど、前方に倒れ込む）
- ・ 不良姿勢による活動（食事やレクリエーションなど）の制限

介護スタッフとOTで検討した内容

- ・ Hさんの座位姿勢を一同で観察。不良な座位姿勢で起こる問題を整理。
 - 「違和感がないか？」
 - 「苦しそうな印象を抱かないか？」
 - 「もう少し楽に座れる方法はないか？」

事例紹介

OTからの提案

①車いすの変更(身体や残存能力に適合した車いすへの変更と適合調整)

- ・ケアマネジャーへ提案

②「車いす」から「椅子」への移乗（食事やレクリエーション）

- ・足台を置き，足底をしっかりとつけるように！
- ・テーブルの高さを調整して，作業しやすいように！

デイサービスの反応

- ・これまで対応方法が分からず，帯で姿勢を固定。
- ・足台の利用で，姿勢が保たれるようになり，活動しやすくなった。
- ・他の車いす利用者にも転用できた。

→ケアマネジャーより「家族が希望していない」との理由で，車いすの変更には至らず。

事例の論点整理

上手く座れない！

デイサービスの視点

- ・ 帯で固定しよう！
- ・ 下肢の筋力をつけよう！

頑張ってレクリエーションに参加できる

PT・OTの視点

- ・ 身体にあった車いすに変更しよう！
- ・ 車いすでの座りきりをやめよう！

レクリエーションが楽しめる

下肢の筋力をつければ・・・

外出だってできるかも

成果（デイサービスからの報告より）

- ◆利用者のリハビリへの関心の高さを認識
- ◆「気づき」の視点の大切さ
- ◆日常での利用者の観察の大切さ
- ◆働きかけの工夫による利用者の意欲の変化



これまで持ち合わせていなかった視点

デイサービスが感じた 「持ち合わせていなかった視点」とは何か？

疾病や障害の特徴の理解

→元々、パーキンソン病は姿勢変換
とバランス障害を特徴としている

将来の生活機能の予測

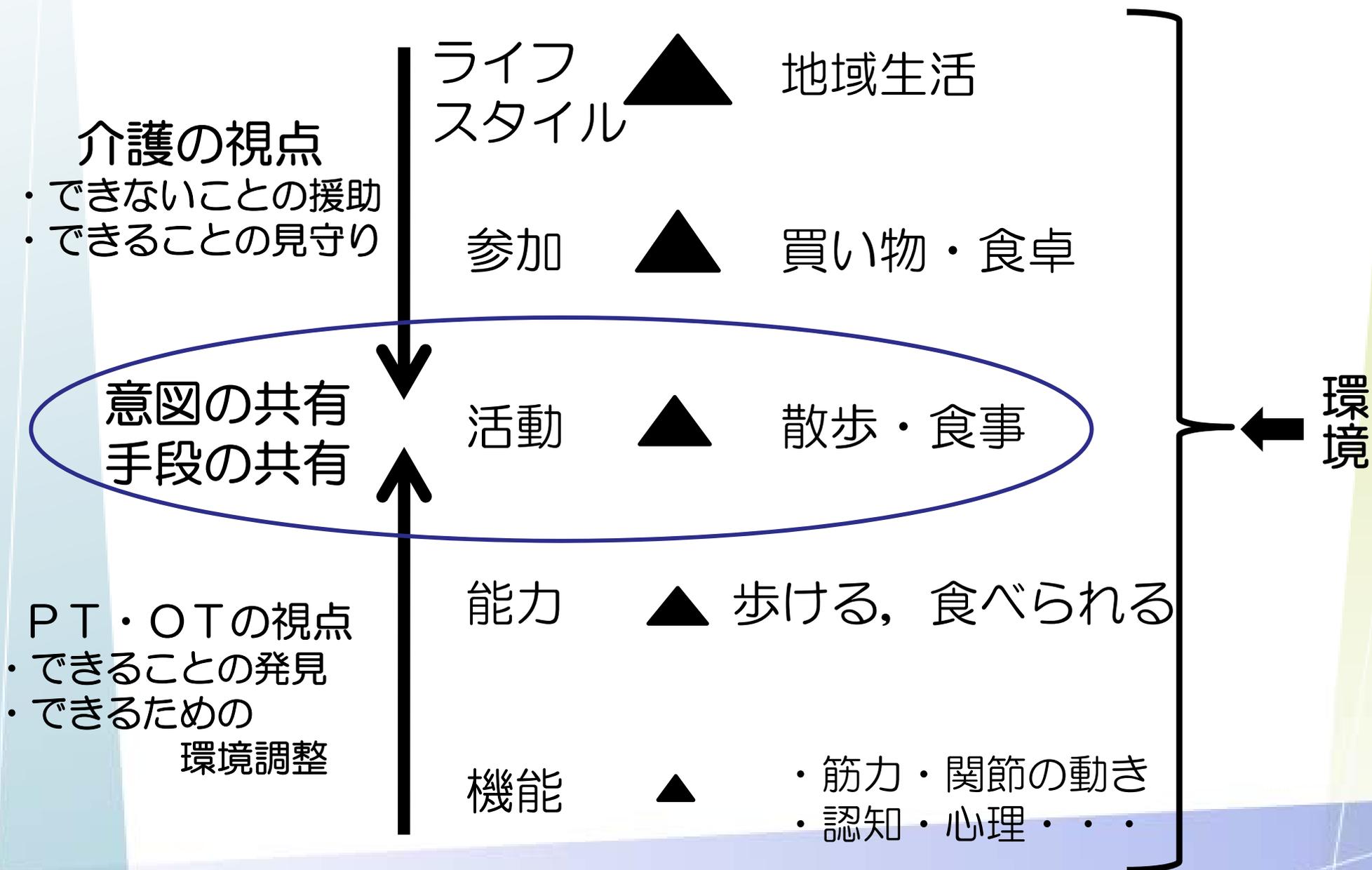
→立つこと、座ることが困難になる
→様々な活動に苦痛を伴うようになる

(残存) 能力の把握と 環境との相互作用

→残っている能力をフルに活用しよう
→少しでも安全に、楽に過ごせるようにしよう

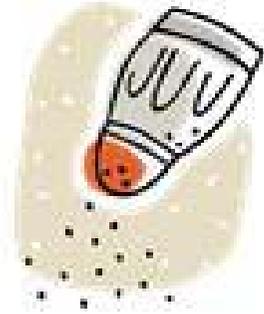
自分たちのケアに
・裏づけ
・意味付け
が得られた

一歩進んだデイサービスにするために・・・



より安全に，より安心できるケアの実現

デイサービスの皆さん！
壁塗りは左官屋にお任せよ



主体的な活動の支援
(PT・OTとの連携)

日常生活の援助

家族の介護負担の軽減